

広報 きずな

平成25年3月26日 発行
編集発行
芦北町社会福祉協議会
熊本県芦北郡芦北町大字湯浦1439-1
(きずなの里内)
TEL: 0966-86-0294
HP: <http://www.ashikita-shakyo.com>

平成24年度地域福祉推進セミナーを開催!!

「地域のつながりの再創造 福祉のまちづくりをめざす地域福祉の実現」
(関連記事3面)



春号

- 地域福祉推進セミナー
- 地域福祉活動推進員等研修
- 熊本見守り応援隊模擬訓練
- 共同募金配分金事業
- デイサービス事業
- シルバー人材センターからのお知らせ
- 香典返し及び一般寄付 など



安心できる地域づくり

地域福祉推進フォーラム

11月13日(火)熊本テルサにて地域福祉推進フォーラムが開催されました。本会でも地域福祉活動推進員を対象に26名が参加されました。

基調講演では、桃山学院大学社会福祉学部教授松端克文(まつのはな かつふみ)氏が「人と人がつながるために地域でできること」安心安全をつくる取り組みに向けて」を演題にご講演されました。

また、シンポジウムでは、「見守り」の実践について芦北町民生委員児童委員協議会長坂口健一氏と本会地域福祉課長太田勝幸氏が発表し、その後寸劇による模擬訓練を行いました。会場満員の参加者からは、「分かりやすかった」などの声がありました。その他「集いの場」の実践を三原さん家代表三原圭子氏、「生活支援」の実践を人吉市社会福祉協議会事務局長速永同志子氏から発表がありました。

参加者からは、「私にできること(地域の縁がわづくり、いきいきサロン、見守りの実践等)から始めたいと思います」「横のつながりの大切さを痛感しました」などの感想が聞かれました。基調講演や実践発表をとおして参加者の皆さんは、地域福祉についての研鑽を積むことができました。



町外の地域に学ぶ

地域福祉活動推進員等 大津町社会福祉協議会視察研修

2月13日(水)に本町における地域福祉活動のより一層の充実を図ることを目的に地域福祉活動推進員等の大津町社会福祉協議会視察研修を実施しました。

当日は、地域福祉活動推進員、区長、民生児童委員37名が参加されました。研修では、大津町の概要、地域福祉計画と地域福祉活動計画、地域福祉推進事業についての説明が大津町健康福祉課長と大津町社会福祉協議会事務局長よりありました。また、森区の地域福祉活動の取り組みを区長、民生委員、前地域福祉推進委員より発表をしていただきました。森区の取り組みを発表される時は参加者の皆さん身を乗り出して聞いておられました。質疑応答についても活発な発言をされて、参加者の地域福祉活動に対する意欲が見られました。

参加者からは、「地区活動の参考にしたい」「一人一人の地区に対しての取り組みが一生懸命ですばりかったです」などの感想が聞かれました。今回の研修が今後の地域での活動に活かされることを期待します。



安心できる地域づくりのために

認知症サポーター養成講座 in 塩浸地区

2月24日(日)塩浸地区にて「認知症サポーター養成講座」を実施し、24名の地域住民が参加されました。この講座は、11月に実施した地域福祉座談会で高齢社会の進む中、地域で安心して生活できる地域づくりの第一歩として認知症の方やその家族への理解を深めることを目的に実施しました。

当日は、2名のキヤラバンメイトの協力を得て、認知症の症状や対応の仕方などをスライドで説明されました。また、何度も聞かれる方に対してどのような対応をしたらよいかなどいくつかの場面を想定して、参加者に自分の考えを発表してもらいました。発表者からは、「笑顔で何度も答えます」「丁寧に答えられます」などの意見が聞かれました。認知症サポーター養成講座終了後、介護予防についての話があり、簡単な転倒予防の体操などを行い、講座は終了しました。対応の仕方やサポーターの役割等についての質問も出て、この講座への関心の高さが感じられました。



見守り体制の強化を図る

熊本見守り応援隊模擬訓練 in 吉尾地区

2月28日(木) 東部保健福祉センターにて芦北町民生委員児童委員協議会主催による「熊本見守り応援隊模擬訓練」が開催されました。

熊本見守り応援隊は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるために、支援が必要と思われる世帯などの見守りの強化を図ることを目的に地域の民間事業者や関係機関と協定を結び、本事業を実施しています。

当日は、42名の方が出席され、オリエンテーション、模擬訓練意見交換が行われました。模擬訓練は、民間協定事業者の吉尾郵便局員が通常業務で異変を察知し、社会福祉協議会へ連絡、関係機関と連携の下、訪問・調査し、見守りの継続とサービス開始に繋がったという設定で実施されました。

意見交換では、ご自身の経験からこのような見守りのシステムづくりの必要性や認知症の方の介護の経験など話された出席者もおられました。



人と人とを結ぶ

地域福祉推進セミナー

3月9日(土) ぎずなの里にて日頃からの地域住民同士の関係づくりの必要性と地域福祉の重要性を学ぶことを目的に地域福祉推進セミナーを開催しました。熊本学園大学社会福祉学部教授和田要(わた)かなめ氏をお招きし、「地域のつながりの再創造 福祉のまちづくりをめざす地域福祉の実現」を演題にご講演いただきました。

当日は、126名の参加があり、地域福祉は誰のものか、どのような活動が地域で支え合って生きていくために有効でそのためにはどのような視点を持てはよいかについて話されました。また、高齢社会が進む中で浮き彫りになる認知症の問題、平時から意識しなくてはならない災害への備えについてもご教示いただきました。



参加者からは、「地域の役割の大切さ、また、つながりを大切にしてみんなと助け合いながら生活していこうと思えました」「福祉のまちづくりの必要性を強く感じました」「地域の一員として傍観者ではなく、いろんな活動に参加していけたらと思えました」との感想が聞かれました。

今後、本会としましては地域づくりの後押し、支援を行って参りたいと考えております。





**平成24年度募金額
5,872,795円**

皆様は、芦北町の地域福祉の向上や、熊本県内の福祉施設などに配分される役割を担っています。

**ご協力
ありがとうございました**



子どもの目線で考える

福祉教育セミナー

2月16日(土)きずなな里にて福祉教育セミナーを開催しました。尚絅大学短期大学部名誉教授浜崎幸夫(はまさき さちお)氏をお招きし、「子供の目で家庭・地域を見直してみよう」「地域予防」の視点から「地域課題」の講演いただきました。フランスのアルルへ行かれた際の、子供たちの様子や子供も大人も集える、縁側のような空間があることを話されました。また、現在の日本の子供たちの目から見た家庭・地域・学校の問題や、芦北町の高齢化率と子供の数から見えてきた課題、自然や地域の方と子供がコミュニケーションをとることの大切さなどを話されました。

参加者からは「個人としてというより、町・地域全体への問題の提言だったので、もっと多くの人に聞いてほしい」との感想が聞かれました。

本会としましても、地域・各関係機関と協力し、子供たちと大人たちが、共に楽しく暮らせる地域社会づくりを目指していきます。



認知症・高齢者・障がい者への理解を深める

福祉・介護チャレンジ教室

2月23日(土)地域福祉活動推進員とボランティアを対象にきずなな里にて福祉・介護チャレンジ教室を開催し、17名の方が参加されました。前半は、キャラバンメイトの皆さんの協力を得て、認知症サポーター養成講座を実施し、認知症の症状や対応の仕方などをイラストを使いながらわかりやすく講義していただきました。その後、各班に分かれて認知症の方への対応の仕方について話し合い、認知症役の人を前に対応の仕方を疑似体験していただきました。参加者の中には、実際に認知症の方の介護をされた方もおり、自分の経験から感じたことや対応について助言をされました。

後半は、芦北町施設ボランティア連絡協議会とケアパーク株式会社の方々に協力していただき、町内福祉施設の概要説明と実技体験を行いました。高齢者疑似体験と車椅子体験では、高齢者や障がい者の気持ちの理解と車椅子の操作方法、声かけの重要性を、福祉用具の説明では、使用方法などを学びました。

参加者からは、「体験学習で不自由な人の気持ちに近づけたような気がしてよかった」、「皆さんの実体験に基づいた例えを出していただき、大変参考になった」との感想が聞かれました。

今回の教室で学んだことを今後の活動に活かしていただき、地域での活躍の場が広がることを期待します。



芦北から温かい真心を届けよう

芦北支援学校高等部佐敷分教室と
共同募金会芦北分会で実施
『東日本大震災募金活動』

2月23日(土)フアーマーズマーケットで
こぼんにて、芦北支援学校高等部佐敷分教室の
生徒の皆さんと共同募金会芦北分会職員、本
会職員で花の苗の販売と東日本大震災義援金の
街頭募金を行いました。

この募金活動は、生徒の皆さんが東日本大震
災で被災された方々へ「何か支援ができないか」
「少しでも助けになれば」という思いから実施
されたものです。

当日は、北風の吹く中で募金活動と花の苗の
販売を交代しながら精一杯呼びかけられており
その一生懸命な姿に引き寄せられてイベントに
来られたたくさんのお客さまが募金にご協力し
てくださいました。
※この募金は、共同募金会をとおして被災者
に届けられます。



介護用品について学ぶ
介護者のつどい

3月6日(水)きずなの里にて、在宅で介護
をされている方の日頃のリフレッシュを目的に、
介護者のつどいを開催しました。

今回は、講師に介護用品を扱うハートケア熊
本・南州メディカル・モルテンの皆さんを招き、
ベッドやエアーマットを使用する方法や介護方法の
講義をしていただきました。参加者の方も実際
に福祉用具を使用し、介護を受けておられる方
の気持ちになるなどの体験もされました。

昼食後は、腰痛予防の体操とレクリエーショ
ンを実施し、皆さん大爆笑しながら楽しんでお
られました。

最後は、介護者同士の意見交換会を行い、「芦
北町にある施設の見学に行き、どのようなサー
ビスが受けられるのかを知りたい」などの意見
が聞きかれました。

介護者のつどいについてのお問い合わせは左
記のとおりです。お気軽にお問い合わせください。

芦北町社会福祉協議会 地域福祉課
☎86-0294



高齢者や障がい者について学ぶ
福祉出前講座 in 田浦中学校

3月7日(木)、田浦中学校
において1年生32名を対象に
高齢者や障がい者への理解を深
めることを目的に車椅子体験・
高齢者疑似体験・全盲者体験を
実施しました。

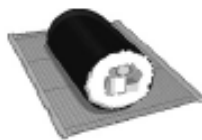
当日は、芦北町施設ボラン
ティア連絡協議会の皆さんから
実際に福祉の現場で働く方々か
ら声かけの大切さや介助方法、
使用する福祉用具について学び
ました。

生徒たちからは、「目の不自
由な方の体験は怖かった」、
「声かけが難しかった」、など
の声も聞かれ、日常生活におい
ても、福祉について考えるきつ
かけになったかと思えます。

福祉出前講座についてのお問
い合わせは左記のとおりです。
お気軽にお問い合わせください。

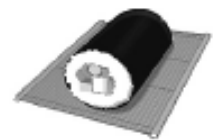
芦北町社会福祉協議会
地域福祉課 ☎86-0294





みんなで福を招く!!

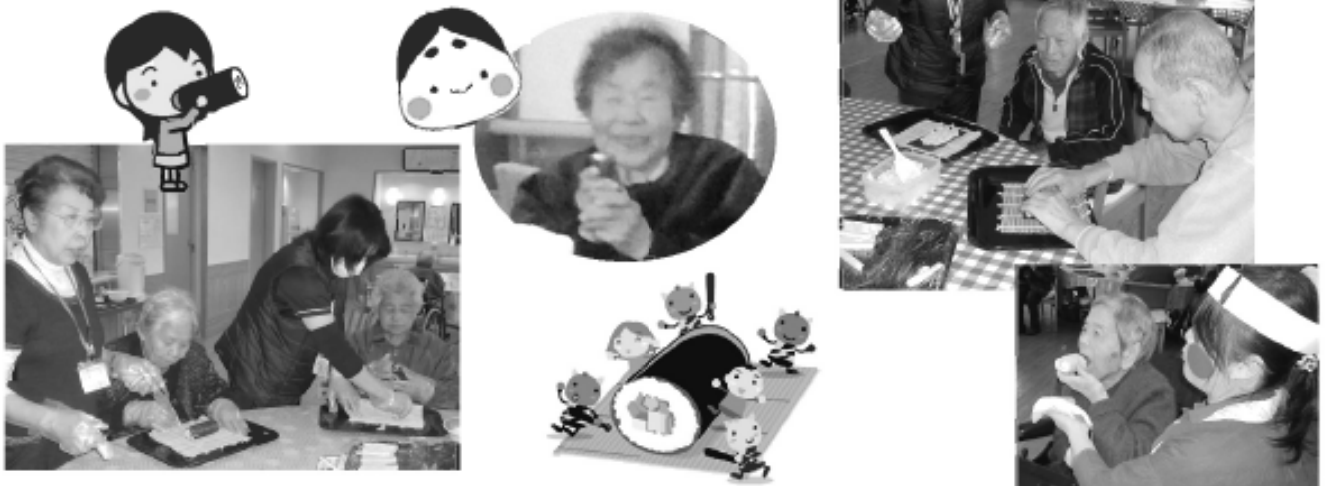
きずなの里デイサービスで恵方巻きづくり



2月2日(土)きずなの里デイサービスにて恵方巻きをつくりました。恵方巻きを恵方を向いて無言で食べる風習は、「福を巻き込む」「縁を切らない」という意味が込められた行事です。

デイサービスでは、たくさんの福を呼び込もうと利用者の皆さんと一緒に恵方巻きをつくりました。出来上がった恵方巻きを今年の恵方「南南東」を向いて食べたところ、あまりの美味しさに思わず「こら、うまかばい」と声をあげる利用者さまもいらっしゃいました。無言で食べきることはできませんでしたが、皆さん笑顔で幸せそうにほおぼっておられました。きっと、今年もたくさんの福が皆さんのもとに舞い降りることかと思えます。

本デイサービスでは、利用者の皆さんが笑顔で楽しく過ごされるようにサービスを今後も提供していきたいと思えます。



板床アサエ様 99歳おめでとうございます!!

八幡荘デイサービスで白寿のお祝い



2月22日(金)八幡荘デイサービスセンターにて2月の誕生会を行いました。今回の主役は、八幡荘デイサービス利用者の中で最高齢の板床アサエ様でした。デイサービスの利用者さまや職員による唄や踊りのプレゼントに加え、くす玉割り、花束贈呈では板床様が感激のあまり涙する場面もあり、とても感動的な白寿のお祝いとなりました。

板床様には、デイサービスの目標として、これからも元気で楽しい日々を送っていただき、長生きしていただきたいと職員一同願っております。



*** 求人情報 ***

きずなの里
介護職員募集中

・臨時職員(1日2~6時間程度) 3名



芦北町包括支援センター
ケアマネージャー募集中

・嘱託職員(フルタイム) 1名



お問い合わせ: 芦北町社会福祉協議会 総務課 ☎86-0294

シルバー人材センターからのお知らせ



シルバー人材センターでは、平成25年度新入会会員を募集しています。町内在住でおおむね60歳以上の健康で働く意欲がある方ならどなたでも入会できます。詳しくは、下記の日程で説明会を開催します。ご希望の方は、お気軽にご参加ください。

記

日時 平成25年4月5日(金)午後3時より
場所 きずなの里 会議室

※作業依頼も随時受付けています。

草刈り、掃除、庭木の剪定など、お困りのことがございましたらお気軽にご連絡下さい。

(連絡先) 芦北町社会福祉協議会 ☎86-0294 (担当: 平野・上野)



香典返し及び一般寄付

本協議会にご芳志を賜りました。ありがとうございます。平成24年12月1日〜平成25年2月末受付分



【香典返し】
12月分

1月分		2月分	
・鶴崎 正吉	海浦1	・農上 政光	小田浦
(故鶴崎 二キ)		(故農上キミ子)	
・石本 博之	田浦2	・宮崎 和重	北九州市小倉
(故石本オサメ)		(故宮崎フクエ)	
・鶴田 彰治	宮崎	・松田セツ子	田浦町
(故鶴田フミ子)		(故松田 文彦)	
・宮口 直喜	道川内	・法花津良一	立川
(故宮口スミ子)		(故法花津ムツキ)	
・鬼塚 一貞	大岩1区	・才畑フミエ	天月
(故宮尾 喜徳)		(故才畑 弘美)	
・宇井 靖子	湯東	・坂本 正雄	埼玉県富士見市
(故田上ハツヨ)		(故坂本ミエ子)	
・上畑サエ子	大尼田	・藤井 善七	平生上
(故内田 進)		(故藤井 キミ)	
・松岡 明子	海浦2	・太田 康博	女島西
(故松岡 敬一)		(故太田ハツエ)	
・宇治原隆一	田浦2	・古村 逸男	芦北
(故宇治原マヨ)		(故金子 正幸)	
・田中千恵美	町2	・木村 初義	兵庫県小野市
(故田中フジコ)		(故木村チヨノ)	
・橋本 文江	湯南		
(故橋本 尊文)			
・山崎 ヤメ	古石北		
(故山崎 智)			
・内尾 マミ子	大尼田		
(故内尾 晋)			
・松本 公人	八代市		
(故松本 緑)			
・大平ハルミ	湯南		
(故大平 正昭)			
・堤 憲子	大岩1区		
(故橋本 ツヨ)			
・宮石 義央	鶴木山		
(故宮石 秀美)			
・井上美代子	佐敷		
(故井上 光)			
		・市川 照子	田浦1
		(故岩本トミエ)	
		・田中 明美	田浦町
		(故田中イツエ)	
		・福山 安	大川内南
		(故福山トシエ)	
		・倉本 修一	合志市須屋
		(故倉本キヨノ)	
		・松本 良隆	松生
		(故松本 景敏)	
		・木村 博	湯南
		(故木村フサエ)	
		・福原スエ子	小田浦5
		(故福原 政義)	
		・松本 次信	松生
		(故松本アキノ)	
		・桑野キミ子	桑原
		(故桑野 八洲)	
		・田川 純一	田浦1
		(故田川シズノ)	
		・川添アサ子	小田浦5
		(故川添 勝美)	
		・釜 チシ	女島又
		(故釜 新藏)	
		・早川 純一	花岡東
		(故早川 輝子)	
		・一川 増良	市野瀬
		(故一川シズモ)	
		・田代 貴士	宮崎
		(故田代 貢)	
		・塩嶋 節子	花岡北
		(故塩嶋 義行)	
		・吉田 節子	本町
		(故吉田 滋生)	
		・森下夕ミ子	田川
		(故森下 重行)	
		・太田 安	海浦
		(故太田 安信)	
		・田中 哲治	小田浦2
		(故田中チエ子)	
		・大胡 定敏	湯北
		(故大胡ヨシ子)	
		・坂口シキモ	丸山
		(故坂口 富雄)	
		・平松 一男	伏木氏
		(故平松マスエ)	
		・松本 行義	計石東
		(故松本ツヤ子)	
		・溝上 利治	田川
		(故溝上 康子)	
		・上畑サエ子	大尼田
		(故内田 マサ)	

みんな一緒に、レッツ脳トレ!!

認知症の予防は早くから始める事が大切です。
自宅でも楽しみながらできる脳トレを紹介します!!

① グー・チョキ・パー

口でグー・チョキ・パーと言いながら
手でパー・チョキ・グーをつくりましょう



② グー・パー

A. 前でパーを出し、
胸でグーをつくりましょう



B. 前でグーを出し、
胸でパーをつくりましょう



Aを5回Bを5回それぞれを行うと…どちらが難しいですか？

●この脳トレは転倒骨折予防事業「たっしやか会」(各公民館)でも行っておりますので、ぜひ一度お越し下さい!!

詳しいことにつきましては、下記の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：予防推進課 介護予防係 (電話：87-0294)

認知症高齢者を抱える家族会

「たけのこ会」お花見のご案内



認知症高齢者を抱えた介護者が集い、介護上の出来事や悩みなどを気軽に話し、それぞれの経験や情報を分かち合いながら、励まし合い、知恵を出し合って、介護者が元気を取り戻す場です。

現在、認知症の方を介護をされている方や介護された経験をお持ちの方、認知症への理解を深めたい方の参加をお待ちしています。

記

1. 日時 平成25年4月4日(木) 午前11時から午後2時まで
2. 場所 湯浦北公民館(湯浦児童館)
3. 参加費 1,000円※お弁当を準備します。
4. 申込み 平成25年4月2日(火)までに芦北町包括支援センター(☎86-2270)にご連絡ください。
5. お知らせ 家族会への協力を町保健センターが行っていましたが、平成25年度より、包括支援センターで引き継ぐことになりました。